

授業科目名	学校保健活動論		担当教員	齊藤 理砂子	科目ナンバリング NP201
選択	開講年次：2年後期	単位：1単位	授業形態：講義15時間		

【授業概要】

学校保健の目的、意義を理解し、学校保健分野における保健活動の歴史的な変遷や現在の諸施策および今日的課題について理解を深める。また、学校保健における健康課題と活動体制を理解し、公衆衛生看護活動との連携および協働について学修する。さらに、養護教諭の職務と役割、対象の健康レベルに応じた活動方法を理解する。

【達成目標】

1. 学校保健の目的・意義、関係法規を学び、学校環境衛生、学校における安全管理と安全教育等の学校保健全般に関わることを理解する。
2. 児童生徒における発育発達と健康課題、それを踏まえた保健管理、保健教育、組織活動について学び、実態に応じた学校保健活動が展開できるようになるための基礎力を身につける。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

- [01] 学校保健の歴史・目的・意義・関係法規
- [02] 児童生徒の健康状態の把握と評価
- [03] 学校環境衛生
- [04] 学校における保健教育
- [05] 学校における安全管理と安全教育
- [06] 学校における感染症の予防と対応
- [07] 学校保健組織活動及び学校保健計画
- [08] まとめ・試験

健康課題を抱える子どもたちへの組織的な支援のあり方

【教科書】

齊藤理砂子(2022)：学校看護論－子どもの健康を守り育てる保健活動－、現代図書

【参考書】

学校保健ハンドブック〈第7次改訂〉教員養成系大学保健協議会編集、2019、ぎょうせい

【評価方法・評価基準】

筆記試験：70%、課題レポート：30%

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業時に提示された事前課題の記述を行うこと。

事後学習：講義資料をもとに学習内容の復習、課題の記述を行うこと。

【教育目標(必須要素)との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅳ．ヘルスプロモーションと予防の実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

課題レポートは授業時にフィードバックを行う。

【備考】

特になし